



■発行者 / 全日本リバイバルミッション
 ■〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
 ■TEL.0536-23-6712
 ■FAX.0536-23-6220

September
 2015 9

ALL JAPAN REVIVAL MISSION NEWS

全日本リバイバルミッションニュース



「さて、【主】のしもべモーセが死んで後、【主】はモーセの従者、ヌンの子ヨシュアに告げて仰せられた。「わたしのしもべモーセは死んだ。今、あなたとこのすべての民は立って、このヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの人々に与えようとしている地に行け。あなたがたが足の裏で踏む所はことごとく、わたしがモーセに約束したとおり、あなたがたに与えている。」
 ヨシュア記1章1〜3節

世代を超えて

主の御名を心から誉め称えます。このたびは、父、滝元明のために、多くの祈りと愛をいただき、親族の一人として、リバイバルミッション実行委員の一人として、心からの感謝を申し上げます。

私は父ほど幸せな人生を送った者はいないと思っています。現在、日本人男性の平均寿命は81歳くらいですが、健康で動ける健康年齢となると、71歳くらいだと言われます。しかし父は、生涯現役で86年間(85年11ヶ月)を過ごすことが出来ました。本人は病が見つかる少し前まで、自覚症状はほとんどなかったと話していました。「沖縄70リバイバルミッション」は、4月から6月末まで、約100回の集会が開催されましたが、その約半数は、父がメッセンジャーとして牽任しました。

また、病が見つかったから天に召されるまでの闘病期間も、一ヶ月弱でした。最期は、愛する孫たち、子どもたち、関係者に囲まれ、本当に安らかに天に凱旋しました。そして、2回にわたって行われた凱旋式には、千数百人もの方々が参加し、死を悼んでくださいました。考えてみれば、こんな幸せな人生を

送った男は、世界にも、あまりいないのではないかと感謝しています。

さて、「全日本リバイバルミッション」の働きも、父が急逝したことにより、少なからず影響を受けることは言うまでもありません。今後の方向性や運営に関しても、今まで以上の祈りを必要としています。同時に父の死は、霊的な領域に関しても、新しい時代の到来を意味しているのかもしれないと、感じています。

ご存じのように、リバイバルミッションは、1970年、父と、田中政男師を中心として始められた、「日本リバイバルクルセード」を前身としています。その働きは、歴史的に見て、近年の日本におけるリバイバル運動の再発火点となりました。日本のリバイバル運動は、明治、大正、昭和初期と繰り返して起りました。しかしながら、帝国主義による教会迫害により、その火は消されていきました。

しかし、1970年に発足した「日本リバイバルクルセード」は、その火を、もう一度点火するという、近代におけるリバイバル運動に、大きな影響を与えたと私は評価しています。

最近、聖書神学の領域にも世界的な変化が起こっています。それは、従来の聖書の命題を断片的に整理する神学ではなく、聖書を一貫した物語としてとらえ、評価するものです。そんな流れの中、現在最も注目されている聖書学者が、「N.T.ライト」です。彼の著作、「クリスチャンであるとは」は、大きな話題を呼んでいます。彼によると、聖書は神が神の民に語られた「神の物語」であり、そのテーマは「創造から新創造へ」であるとしています。そして、バプテ

スマを受けてクリスチャンとなり、教会につながる意味は、神の創造から新創造という、神が脚色し、演出する壮大な劇の役者の一人として加わることとしています。

つまり、神が始められたプロジェクトの一員となり、その働きをサポートする、すなわち、神の夢を実現するために私たちは存在しているということです。その夢とは、主の再臨であり、新しい天と新しい地の創造に他なりません。

リバイバルミッションの働きも、実に、神の物語の一部を演出しているのに過ぎないはずで。そして、今や、その働きが幕幕に移ったような気がします。

神がイスラエルを「カナン入国」という目的を持って導かれた、出エジプトの物語は、聖書全体のモデルです。モーセに委ねられた働きも、次の世代、ヨシュアに委ねられた働きも、神が最初に設定された目的の、各パートを担ったのに過ぎなかったわけです。

私たちも同様です。主が演出されている壮大なプロジェクトを、世代を超えてサポートする者たちになりたいと願っています。リバイバルミッションに委ねられた役割を、世代を超えて実現できるよう、



今後も続けて祈り、ご協力をよろしくお願いいたします。重ねて、心からの感謝を申し上げます。

全日本リバイバルミッション実行委員
 Jun Takimoto
 滝元 順



勝利・感謝・主に栄光! 主幹滝元明、天に凱旋

8月1日午前4時43分、全日本リバイバルミッション主幹・滝元 明は、勝利のうちに天に凱旋いたしました。多くの方からの励ましとお祈りを、心より感謝申し上げます。

沖縄70リバイバルミッションに続き、九州地区でのミニストリーを終えた後、体調不良を訴え、7月7日の診断で肝臓がん末期であることが判明いたしました。その後、静脈瘤破裂による吐血があり、緊急入院し治療を受けましたが、高齢でもあり、体力は急激に低下しました。しかし、その様な中でも土・日にかけて2回ほど帰宅し、新城教会で礼拝を守ることができました。闘病中、彼が最後まで願っていたのは、日本のリバイバルでした。寝ても覚めても、「日本の魂を救ってください、日本に

リバイバルを起こしてください」と祈り続けていました。

天に召される直前の2日間は、喋るのもままならない中、朝から晩まで主に賛美し、祈り、感謝を献げていました。

7月31日は、家族と共に祈り、地上での別れの時を持ちました。そして8月1日早朝、ネパールで宣教活動中であった長男滝元順、五男開ともビデオ電話をつなぎ、愛する多くの孫たちに囲まれて、賛美と祈りの中、本当に安らかに天に凱旋しました。

朽ちるものが朽ちないものを着、死ぬ者が不死を着るとき、「死は勝利にのまれた」としている、みことばが実現します。

コリント人への手紙第15章54節

凱旋式



8月3日(月)、新城教会にて凱旋式(召天式)が執り行われました。家族、親族、教会員、地域の人々に加え、全国各地から600名近くの方が参列してくださいました。「凱旋」とは、「戦勝のときに奏でる音楽とともに帰る」という意味です。文字どおり、賛美による勝利の歓声と共に、素晴らしい式となりました。

司式を行った平岡修治師は、申命記34章5節からメッセージを取り次ぎ、「主の命令によって、主のしもべモーセは、モアブの地のそのところで死んだ」とあるように、滝元先生もリバイバルを見る直前に、神の命令で天に帰って逝きました」と語りました。

モーセの死後、主がヨシュアに語られたように、「ただ強く、雄々しくあって、わたしのしもべモーセがあなたに命じたすべての律法を守り行い」(ヨシュア記1:7)ことを願われ、リバイバルに対する熱い思いを新たにさせられる凱旋式となりました。



リバイバル感謝聖会



8月14日(金)午後2時から、「伝道者・滝元明リバイバル感謝聖会・凱旋式」が執り行われました。聖会は1日に師が召天されたのを受け、1部を「凱旋式(召天式)」、2部を「リバイバル感謝聖会」とした2部構成のプログラムで行われました。1部の凱旋式では、滝元師の孫や海外から駆けつけたロン・ブラウン、ティム・ケブラー、ジョン・フルカー各氏による特別演奏、滝元師の生涯を振り返るスライドショーなどがあり、平岡修治師によるメッセージが語られました。2部の感謝聖会では、戦後70年のとりなしと悔い改めの祈りが導かれ、生前の滝元師によるビデオメッセージが上映された後、滝元順師によるリバイバルメッセージが語られました。

参加申込多数のため、急遽会場となった新城文化会館大ホールには約900名の方々が全国各地・海外から集われ、滝元師から信仰のバトンを受け継いで、リバイバルのために働く献身の思いを新たに集会となりました。





写真で見る
伝道者 滝元明
の歩み



1929 津具生家



1950 結婚



1965 家族と



1970 クルセード発足



名古屋クルセード



天皇家と



1980 新会堂建設



1993 甲子園ミッション



ブラジルにて



1998 東京ミッション



2000 スーパーミッション



2007 ハワイミッション



韓国ミッション



ご夫妻で



2015 沖縄ミッション



2015年

11月25日 [水] — 26日 [木] マニプール州インパール
11月28日 [土] — 29日 [日] ナガランド州コヒマ

● 本大会ツアーにご参加ください! (注意: 帰国日が変更になりました)

11月23日 [月] — 12月2日 [水] (10日間) 東京・成田出発

ツアー基本料金: 219,800円 (税込)

※この他、別途諸費用(燃油サーチャージ等)が必要です。

(現在は32,320円ですが、情勢やレート変動により増減する可能性があります)

※インドへの旅行はビザ申請が必要です。(別途料金により申請手配できます)

※ツアー詳細は同封の別紙をご覧ください。

ナガランド教会指導者一行 来日レポート

7月22日から28日にかけて、ナガランド州の教会指導者一行7名が日本を訪れ、日本のクリスチャンたちと交わりを持ちました。一行は新城教会と橋本バプテスト教会で集会をもったほか、インパール作戦にかかわる地を訪れて、とりなしの祈りの時をもちたり、京都の国際平和ミュージアムを訪れることもできました。7月26日の朝には、病床にあった故・滝元明師とともに祈る時が与えられましたが、その際、戦争中にお互いが犯した罪につい

て謝罪しあい、ゆるしあう感動的な一時ももたれました。11月にナガランドとインパールで行われる本大会に向けて、とても大切な一歩が刻まれたといえる機会でした。



新城教会礼拝にて



橋本バプテスト教会にて

For our 20th Anniversary:
Asia/Pacific Rim Mission

いよいよ第4期目が9月からスタート! 霊的戦い専門課程

教職者を中心に、教会伝道の現場で霊的戦いを実践しておられる方々のために、
一歩進んだ霊的戦いの学びを提供する、霊的戦い専門課程。

2015年9月より、4期目の専門課程がスタートします。
この機会に、はじめての方もふるってご参加ください!

2015—2016年●年間スケジュール [すべて月曜日～火曜日]

2015年9月28—29日●10月26—27日●12月7—8日

2016年1月25—26日●2月22—23日●3月28—29日●4月25—26日●5月23—24日
6月27—28日●7月25—26日

費用 / 全参加14,139円 [税込み、食費・宿泊費含む]

●お問い合わせ、参加申込みは、神学校事務局まで。

※予定は変更になる場合があります。※2015年11月と2016年8月は専門課程はありません。

※霊的戦い専門課程は通常のセミナーとはことなり、教職者および教会による推薦を受けた方々を対象として開講しています。
信徒として個人的に霊的戦いの学びを希望される方は、神学校の聴講あるいはDVD講座の受講をおすすめします。



リバイバル聖書神学校
Revival Biblical Seminary

権力によらず、能力によらず、
わたしの霊によって
[ゼカリヤ4:6]

無料体験
入学制度を
ご利用
ください!

- ・毎月行われているリバイバル聖書神学校の授業を受講することができます。
- ・登録料・授業料無料!滞在費(食費・宿泊費)のみで参加できます。
- ・年間を通じていつでも、1講義から参加できます。

※無料体験入学をご希望の方は、神学校事務局までお問い合わせください。

※無料体験入学はお一人様1回限りとさせていただきます。通常の聴講は随時受け付けています。



9月
9月8日[火]
1～3限:ヨハネの福音書(平岡修治)
4限:宣教の聖書神学(有賀喜一)
5限:特別講座 今日的神学と教会(山崎ランサム和彦)
9月9日[水]
1～3限:旧約聖書概論(石黒則年)
4限:宣教の聖書神学(有賀喜一)
5限:1年生 聖書解釈学入門(山崎ランサム和彦)
2・3年生 キリストの良い証人(有賀喜一)
9月10日[木]
1～4限:霊的戦いの諸相(滝元順)
9月11日[金]
1～4限:ルカの福音書(山崎ランサム和彦)

10月
10月6日[火]
1～3限:ヨハネの福音書(平岡修治)
4限:宣教の聖書神学(有賀喜一)
5限:特別講座 祈りの学校(有賀喜一)
10月7日[水]
1～2限:宣教の聖書神学(有賀喜一)
3限:ルカの福音書(山崎ランサム和彦)
4限:宣教学(高見澤栄子)
10月8日[木]
1～2限:宣教学(高見澤栄子)
3限:宣教の聖書神学(有賀喜一)
4限:ルカの福音書(山崎ランサム和彦)
5限:(1年生)聖書解釈学入門(2・3年生)キリストの良い証人
10月9日[金]
1～2限:ルカの福音書(山崎ランサム和彦)
3～4限:霊的戦いの諸相(滝元順)
※講義スケジュールは変更になる場合があります。



DVD講座のご案内
1講義(90分2,000円)からでも受講可能!登録無料、ご注文合計3,000円以上の場合、送料無料でお届けします!便利でお得なDVD講座をぜひご利用ください。

●7月度の講義
新約聖書神学13-16 山崎ランサム和彦(全16講義) ヨハネの福音書10-12 平岡修治(全21講義予定)
聖書解釈学入門4 山崎ランサム和彦(全11講義予定) 戦略的霊的戦い4-6(全10講義予定)
ヘブル書10-12 有賀喜一(全12講義)
*講義の時間数は変更になる場合があります。*DVDによっては、神学生のみなへの提供となるものもございます。あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ資料請求は今すぐ! 神学校事務局まで
REVIVAL BIBLICAL SEMINARY **リバイバル聖書神学校**
〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1 ●Tel.0536-23-6720 Fax.0536-23-6220
E-mail seminary@j-revival.com ホームページ http://www.j-revival.com/rbs/

Zawameki 12
Jesus is coming soon!
Zawameki シリーズ第12弾。
世界的ベストAlex Alt&eプロデューサーに迎えL.A.録音!サタンの手より音楽を奪回!今、主に最高の賛美がささげられる。
好評発売中!
お求めは、ブレイズ出版
全国キリスト教書店にて取り扱います。
ブレイズ出版 Tel.0536-23-6195

Zawameki 2015 Schedule
歌おう!日本の回復を!叫ぼう!主への賛美を!
8.28 [金] 19:00~
Z.L.Lat飯田リバイバル祈禱会
会場 / 飯田入舟教会
長野県飯田市高須町3丁目2-4
8.29 [土] 19:00~
Zawameki Worship Shout新城市
愛知県新城市富沢407-1
8.30 [日] 10:30~
Z.L.Latあやめ池キリスト教会
奈良市教場町1丁目547-34
9.4 [金] 16:00~
Z.L.Lat摂津ベテルキリスト教会
大阪府摂津市正基本町1丁目36-21
9.11 [金] 18:30~
Zawameki Worship Shout東京Vol.138
会場 / お茶の水クリスチャンセンター
B1アイリッシュホール
東京都千代田区神田區河原町2-1
9.13 [日] 14:00~
Z.L.Lat岐阜キリスト教会
岐阜県岐阜市大田町50-54
〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
Tel.0536-23-0024 Fax.0536-23-6220
club@zawameki.com
郵便番号Zawameki口座番号 00880-9-56347

9.18 [金] 19:00~
Zawameki Worship Shout新城市
愛知県新城市富沢407-1
9.19 [土]—23 [水]
Zawameki 四国ツアー
9.19 [土] 19:00~
Z.L.Lat高松クリスチャンチャーチ
香川県高松市上天神町743-3
9.20 [日] 10:30~
Z.L.Lat鳴門ホープチャペル
徳島県鳴門市東港町東海字坂田432-173
9.21 [月] 13:00~
香川青年宣教賛美集
会場 / 善通寺バプテスト教会
香川県善通寺市杉本町306-5
9.22 [火] 13:00~
Zawamekiめまはら皮膚科
医院内コンサート
香川県三豊市香中町北地大2621

9.26 [土] 18:30~
Z.L.Lat愛知インドネシア福音教会
愛知県安城市高瀬町沢池63
10.2 [金] 20:00~
Z.L.Lat加古川バプテスト教会
兵庫県加古川市加古川町大野823
10.10 [土] 14:30~
Zawameki Worship Shout東京Vol.139
会場 / お茶の水クリスチャンセンター
B1アイリッシュホール
東京都千代田区神田區河原町2-1
10.23 [金]—25 [日]
Zawameki 青森ツアー
10.23 [金] 19:30~
Z.L.Lat青森キリスト教会
ジョイフルチャペル
青森県青森市駅前1-12-13
10.24 [土] 15:00~
Z.L.Lat平川キリスト福音教会
青森県平川市本町村元0-11
10.25 [日] 10:30~
Z.L.Lat青森バプテスト教会
青森市青森2丁目2番地10号
Zawamekiホームページが
新しくなりました! Zawameki情報
Photo Reportを随時更新!
www.Zawameki.com

Sing Praises for the World
Zawameki Home Page
www.Zawameki.com

会計報告 2015年7月度

収入	支出
前月繰越金	3,373,879
一般献金	2,259,048
収入合計	2,259,048
前月ざわめき繰越金	771,801
ざわめき献金・集金収入一式	575,063
ざわめき経費一式	436,301
次月繰越金	910,563

いつも全日本リバイバルミッションのた
めにご支援くださり感謝いたします。
沖縄の大会の支払いもほぼ7月で終える
ことができました。11月にはインド・ナガラ
ンド・インパールでの大会を控え、また滝元
明師の熱い願いと使命であった日本のリバ
イバルを目指し、そのバトンを受け取った
者として前進していかなければなりません。
続いてお祈りくださるとともに是非ご支
援くださいますようお願いいたします。

ALL JAPAN REVIVAL MISSION
全日本リバイバルミッション ☎0120-291-372
〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
Tel.0536-23-6712 Fax.0536-23-6220
http://www.j-revival.com office@j-revival.com
※次回10月号は9月20日(日)発行予定です。